

カラーリングをつけて放鳥したケリ *Vanellus cinereus* の長期経過後の観察記録

脇坂英弥*

1996年3月28日に放鳥した性不明のケリ成鳥1羽を京都府巨椋池干拓にて放鳥した。この個体を2009年5月3日と2010年4月25日に同じ場所で発見し、観察した。この個体は2年間に同所の水田にて抱卵した。本報告はケリが14年間以上の寿命を持つことを示す。

キーワード：巨椋干拓地, カラーリング, 寿命。

ケリ *Vanellus cinereus* は水田を主たる繁殖場所にする地上営巣性のチドリ科 Charadriiformes の鳥類で、日本では本州・四国・九州に局所分布している（竹田 1996, 日本鳥学会 2000）。本種は比較的身近な鳥でありながら、寿命や繁殖可能年齢などの生活史に関する知見はほとんどない。一般に野生の状態での鳥の寿命を把握することは困難であるが、標識調査あるいはカラーマーキングから寿命を知る手がかりを得ることができる。それは足環をつけた鳥が再捕獲されたり、マーキング個体が発見されたりする期間のデータから、少なくともその期間は生きたという証拠を得られるからである（山階鳥類研究所 2002）。筆者は京都府南部の農地でケリの標識調査とルートセンサスを定期的におこなっている。その際、カラーリングをつけて放鳥されたケリが10年以上を経て発見されたので報告する。

1. 観察（または標識）個体の種名・齢・性別

ケリ *Vanellus cinereus* 1 個体

齢：成鳥

性別：不明

2. 観察（または標識）者名

脇坂英弥

3. 観察（または標識）個体の標識情報

まず、中川宗孝氏は1996年3月28日に京都府久御山町の巨椋池干拓（34.9°N, 135.8°E）で捕獲したケリ（成鳥・性不明）の右脚に環境省の標識用金属足環（8A-12782）、左脚に赤色のカラーリング（白色でX6と刻印）をつけて放鳥した。その後、筆者は2009年5月3日、同所の水田において抱卵中の本個体を発見した。それから6日後の5月9日に同じ水田で幼鳥1羽を連れてくる本個体を観察した。翌年2010年4月25日、同所において本個体と標識されていない成鳥個体との交尾行動を観察した。そのとき本個体が下方、標識されていない個体とその背中に乗って交尾様の行動を行っていたことから、本個体はメスであると判断できた。また、それから約40日後の6月5日に幼鳥3羽と連れ添っている



図1. 1996年3月28日にカラーリングをつけて放鳥されたケリ成鳥 (2009年5月3日)

Fig. 1. A banded color-ring adult Grey-headed Lapwing on March 28, 1996 (May 3, 2009).

本個体を観察し繁殖個体であることが明らかとなった。

本個体を標識放鳥した1996年から2009年にかけて、ケリの繁殖期となる3月から6月の間に同所を2～3回センサスしたが、本個体の観察記録はなかった。ただし、このとき必ずしもケリの全個体を記録できていないので、本個体を見落としていた可能性はある。また2011年の3～6月に毎月2回、同所をセンサスしたが本個体を観察できなかった。これまでに本個体の同所以外での観察情報はなく、2010年の観察以降、本個体が同所から移動したのか、あるいは死亡したのかは明らかでない。なお、標識放鳥した日から最後に観察した日までの経過日数は14年2か月である。このことからケリは野生の状態で、少なくとも14年以上の寿命と繁殖能力を有することが示唆された。

謝 辞

文末ながら、本個体の放鳥時の記録をご教示くださった中川宗孝氏、センサスにご協力くださった脇坂啓子氏、ならびに有益な助言をくださった査読者おふたりに心から感謝申し上げる。

引 用 文 献

- 日本鳥学会 2000. 日本鳥類目録 改訂第6版, p. 96. 日本鳥学会, 帯広市.
竹田伸一 1996. 日本動物大百科 3 鳥類 I (樋口広芳・森岡弘之・山岸哲 編), pp. 85–89. 平凡社, 東京.
山階鳥類研究所 2002. 鳥類アトラス—鳥類回収記録解析報告書, p. 4. 環境省自然環境, 東京.

脇坂英弥* hk-wakisaka@nifty.com

〒602-0031 京都市上京区裏築地町84-402

Hideya Wakisaka*

84-402 Uratsukiji-cyo Kamigyo-ku, Kyoto 602-0031, Japan.

ABSTRACT

Observation of long-term progress of a color-ringed Grey-headed Lapwing *Vanellus cinereus*

Hideya WAKISAKA*

On March 28, 1996, one adult Grey-headed Lapwing was captured, banded with a color-ring, and released at Ogura reclaimed land (34.9°N, 135.8°E) in Kyoto Prefecture, Japan. On May 3, 2009 and April 25, 2010, the same bird was discovered at the same place. Subsequently, the bird incubated eggs in a rice field at this site for 2 years. These data show that Grey-headed Lapwings have a life span and breeding ability of at least 14 years.

Key words: color-ring, life span, Ogura reclaimed land.

受付日：2012年3月31日，受理日：2012年6月19日